

武蔵野北高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語

科目： 論理・表現Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ CROWN Logic and Expression I (三省堂) ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</li> <li>・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりする。</li> <li>・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できる。</li> </ul>
【思考力、判断力、表現力等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</li> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</li> </ul>
【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。</li> </ul>

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における学習の学び直しや、中学校における指導との接続に留意しながら、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けさせる。特に、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、1つの段落を書くことを通じて、論理の構成や展開を工夫して伝える又は伝え合うことができるようにさせる。</li> <li>・新しい知識を確実に習得しながら、既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりさせる。</li> <li>・獲得した個別の技能が自分の経験や他の技能と関連付けられ、変化する状況や課題に応じて主体的に活用できるようにさせる。</li> </ul>	<p>【話すこと(やりとり)】日常的な話題に関して、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることができるようにさせる。</p> <p>【話すこと(発表)】日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることができるようにさせる。</p> <p>【書くこと】日常的な話題に関して、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して伝える文章を書くことができるようにさせる。また、社会的な話題に関して、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝える文章を書くことができるようにさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養わせる。</li> <li>・「知識及び技能」を実際のコミュニケーションの場面において活用し、考えを形成・深化させ、話したり書いたりして表現を繰り返し使用させ、「思考力、判断力、表現力等」の伸長を図ることで、生徒に自信をもたせ、主体的・自律的に学習に取り組む態度を一層向上させる。</li> </ul>

[illegible]

[illegible]

